

学校支援地域本部事業

自治体名

岩手県釜石市

震災後の地域の状況・仮設住宅数

東日本大震災による津波で市街地の大部分が被災し、多くの児童が学区内外の仮設住宅等から通っているように、地域内のあらゆる基盤が機能不全に陥っている。仮設住宅数は、3,164 戸である。

＜取組名＞ 『学校と地域が共に育む』

取組概要

実施形態 (該当に○)	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
	○			
実施主体・ 場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
	3	4,152 回	323 回	釜石小学校、甲子小学校、栗林小学校

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	○		○	○	()
学校と地域の 協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
		○	○	○	()
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○		○		()
家庭教育・ 保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					()
地域課題に応じた 学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					()

＜取組の内容を具体的に記載＞

市内3小学校で、地域との協働により学校内外における教育活動の提供を行う。各本部に地域コーディネーターを配置し、ボランティアと学校のニーズのマッチングを図ると共に、新規ボランティアの発掘を行う。

(1) 学習支援ボランティア 家庭科や総合的な学習の時間等への授業支援

(2) 放課後学習支援 放課後学習時における丸つけ補助

(3) 図書ボランティア 学校図書館の整備及び本の修繕、児童への本の読み聞かせ等

(4) 防災訓練 地域・行政と連携した防災訓練の実施

(5) 放課後子ども教室 放課後における子ども達の居場所づくり



取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

震災復興に対して予算が割かれ、社会教育分野の予算が大幅に減少する中、子どもと学校を拠点とした地域づくりの必要性、子ども達の放課後の安心・安全の確保などについては、大きな課題として残っていた。

◇住民等からの要望・必要な取組

今もなお生業や住宅の再建を中心とした震災復興が最重要課題であるが、子ども達を取り巻く教育環境は震災前に戻っておらず、保護者や学校から教育支援に対する強い要望があり、学校のニーズに応じて柔軟に取り組める事業の展開が必要とされている。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- ・コーディネーター ～ 各学校において、子どもと地域をつなぐ適任者を主体的に選任した。
- ・ボランティア ～ 市教委が市民に広報等を通じて募集をした。
- ・市教育委員会 ～ 実施主体
- ・学校 ～ 活動内容の依頼、協力・連携、活動場所の提供、児童生徒への周知。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

- ・全体を統括する地域教育コーディネーターを配置し、ボランティアや活動内容に関する情報を共有する。
- ・各校が抱える課題を各校が主体的に掘り起すことで、教員の当事者意識を高める。
- ・改善が生かされ、より充実した事業が展開できるようにPDCAサイクルの導入の促進を図る。
- ・それぞれの学校のニーズの把握と具体的取組の提案を行う。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

- ・これまでの活動の成果を学校だけではなく地域に還元したいという読書ボランティアの意向により、公民館と連携して仮設住宅団地等を巡回して読み聞かせ活動を開始し、読書ボランティアの新たな掘り起しにも寄与している。
- ・教員の人事異動をきっかけとして地域の協力を得なくなった事業も多いことから、地域からコーディネーターを選任して本事業に関わることで解消し、より学校と地域の距離が身近になり、学校・地域双方が喜んでいる。
- ・学習支援について、生活科、総合的な学習、家庭科など活用が広がってきており、学校の先生方からも効果的に授業を進めることができるようになったという評価をいただいている。

◇復興に資する内容としての数値的達成の成果

児童が読書に親しむ環境整備の充実(蔵書 1冊あたりの貸出回数 H25 1.6回 → H26 3.8回)

◇課題や今後の展望

- ・震災により被災したボランティアが活動を再開するまで生活が戻っておらず、ボランティアを安定的に確保して継続的に活動する見通しはまだたっていないため、ボランティア一人ひとりへの負担が相対的に増えている。